

お正月のお料理は



s.s
みらい
新聞

第 113 号
2023 年 1 月
発行責任者
新津 尚

お正月をショートステイで迎えるご利用者様に、お正月らしい食事をしていただきたいと考えて、栄養士とも相談しました。昔ながらのお正月に出てくるお節料理の中から、ご利用者様に食べられる物を提供させていただきました。

かまぼこ、伊達巻、紅白なます、昆布巻き、豆きんとん、ちらし寿司を召し上がっていただきました。お餅は提供できませんでしたが、皆さんに喜んで頂きました。また、コロナ過でもあり、感染予防に各部屋や食堂（広間）などに、エアー DOG を 7 台設置してあります。

認知症介護イライラに 対処する 3 つの方法

そもそもなぜきつく当たってしまうのでしょうか。原因の多くは認知症の方に対し、認知症ではなかった頃の姿を重ね合わせ、「そんなはずはない」と認めたくない気持ちがあると考えています。それは家族など親しい関係であればあるほど強くなります。当たり前のことだとも言えますが、この感情をどうにかして乗り越えなくてははいけません。同じ人でありながら、今までとは違う人になったと割り切って向き合うことが必要な場合もあります。

1. 要介護者と少し間を置く
2. 対応を他の人と代わってもらう
3. 第 3 者の介護経験者にイライラを吐き出す集いの場などに出かける

介護疲れの息抜きに「ショートステイの利用」を考える方も多くなっています。ご利用に際しては、担当のケアマネージャーさんにご相談ください。

世界初の『アルツハイマー型 認 知症治療薬』を承認

アルツハイマー型認知症は、国内で 600 万人程度とされる認知症患者のおよそ 7 割を占めるとされ、海外でも多数の患者を抱えます。その医薬品の開発は抗がん剤以上に困難な領域とされ、いくつもの巨大製薬企業が挑戦しましたが失敗してきました。

昨年 6 月 7 日、FDA（アメリカ食品医薬品局）はエーザイと米バイオジェンが共同で開発する『アルツハイマー型認知症治療薬』候補の「アデュカヌマブ」について、条件付きで承認申請を認めると発表しました。

従来の認知症薬とは異なり、疾患そのものを治療する初めての『アルツハイマー型認知症治療薬』として世界で初めての承認となります。同薬はアルツハイマー型認知症の原因物質とされるたんぱく質「アミロイドベータ」を除去する効果があるとされます。認知症の発症を遅らせると言われています。